

年 組 名前:

南ア市PR 行政っぽくなく

スポット、特産、店：インスタで

南アルプス市は、写真共有アプリ「インスタグラム」の市公式アカウントを地域活性化に活用している。昨年5月から本格運用していて、市内の店舗や市産フルーツなどについて10秒程度の動画にして投稿。担当者は「いかにも行政」のような雰囲気が出ないようにし、利用者が楽しいと思ってもらえるように心がけている」と話している。
〔井村賢紳〕

10秒動画 つながり生む

市公式アカウントでは、市内 応じて作成。11月25日現在、飲 盛り上げていきたい」と話す。の紅葉スポットや市産のシャイ 食店など13店を取り上げている。動画をきっかけに市民とつながり、市内で開かれたイベントなどを週3回のペースでコメントすると、紹介した市内の卵の商品に使用したい洋菓子店に養鶏場を紹介するケースもあつたという。中村さんは「つながりを生み、市民の役に立てれば」と話す。



市内の店紹介で、開店の経緯などを聞く中村直貴さん
＝南アルプス市内



市公式アカウントのフォロワーは約4800人（今月12日現在で約7割が市外在住という。動画には「#（ハッシュタグ）南アルプス市は山梨です」を付けて投稿。中村さんは「南アルプス市の知名度はまだ。動画で南アルプス市を知ってもらい、訪れてもらうきっかけになれば」と話している。

(2023年12月19日付 山梨日日新聞18面)

問1 ^{みなみ}南アルプス市は、「インスタグラム」の市公式アカウントを、^し何に活用する^{しこうしき}取り組みをしていますか。

.....

問2 ^し市の担当者は、^{たんとしや}動画を制作する^{どうが}時に、^{せいさく}どのようなことを^{とき}心がけていますか。

.....

問3 ^{どうが}どのような動画を、^{しゅう}週3回のペースで^{かい}投稿していますか。

.....

問4 ^{しょうかい}紹介した店の割引券を^{みせ}抽選^{わりびきけん}でもらうには、^{ちゆうせん}何をすればよいですか。

.....